

～ 水質検査の採水について ～

水をとる前に必ずお読み下さい。

採水される前に！

- ◆ 採水をされる前に、次の事項を確認し以下の方法で行って下さい。
 - 水は必ず弊社窓口へ持込む日にとって下さい。
 - 採取用容器が揃っているか確認して下さい。
 - ① 2ℓ容器【写真① 化学検査用のポリ容器です。】
 - ② ふらん瓶【写真② 全有機炭素（TOC）用のガラス容器です。】
 - ③ 滅菌容器【写真③ 細菌検査用の袋入り容器です。】
 - 蛇口の先にホース等がついている場合は、はずして下さい。
 - 採水要領
 - 〈井戸水〉 ポンプ中の水を十分放水したのち採水します。（ツルベの場合、数回にわたって水をくみ出したあと採水します。）
 - 〈水道水〉 蛇口から数分間放水したのち採水します。（この場合、蛇口を火炎、その他の適当な方法で滅菌後、採水すると完全です。）
 - 〈その他〉 上記に準じます。



【写真①】 2ℓ容器

採水の仕方について！

- ◆ 2ℓ容器に採水【写真①のポリ容器】
 - 検査する水で2～3回程度ふり洗いしたのち、9分目まで水を入れて密栓して下さい。
- ◆ ふらん瓶に採水【写真②のガラス容器】
 - 検査する水で2～3回程度ふり洗いしたのち、瓶の首部分よりやや上まで水を入れて下さい。
 - 栓を使って瓶の胴部を軽くたたき、内壁についた細かな気泡を抜いて下さい。
 - 栓をそっと入れ密栓し、栓を指で押えたまま瓶を傾けて余水を捨てて下さい。
- ◆ 滅菌容器に採水【写真③の袋入り容器】
 - 袋の上部をハサミで切り取ります。（この容器は滅菌してありますので、絶対に洗わないで下さい。）
 - フタの部分のみを袋の上部から出してフタを外し、ほぼ一杯になるまで水を入れて下さい。（この時フタや容器の内側にふれないように水を入れて下さい。）
 - すぐに密栓し、容器を袋の中に戻し直接手で触れないようにして下さい。



【写真②】 ふらん瓶

● 細菌試験における採水時の注意

- 採水の仕方が悪いと、細菌検査結果が影響を受けることがあるので注意して下さい。
- ※ 水を採ったあと暖かい所に長時間放置すると、元気な細菌はどんどん増えます。なるべく冷所に置いて、その日のうちに検査に出して下さい。
 - ※ 雑菌は空中にもいますし、手指にもついています。蛇口のホース等の付属品をはずして蛇口をきれいにしたか、十分に水を出して管にたまっていた水を除いたか、採水容器の内側にさわったりして汚れてなかったか等に気をつけて採水して下さい。



【写真③】 滅菌容器

～ 水質検査の受付について ～

- ◆ 採取した水は、弊社窓口へ持参して下さい。

ご不明な点がございましたら、お気軽にお問合せ下さい。

受付機関	所在地	お問合せ先
株式会社 アクアリサーチ	東近江市東今崎町6-11	(電話) 0748-20-1880 (メール) info@aqua-re.com

- ◆ 受付日時 月曜日～金曜日 9:00～15:00
但し、祝日等は除きます。また上記日時以外の受付をご希望の場合は、別途ご相談下さい。
- ◆ 検査結果 検査する水を受付けた日から2週間前後で郵送致します。